

登録コード	TSX02500	開講年度	2026			
授業科目	建築意匠設計学演習				担当教員	寺内 美紀子
英文授業名	Architectural Design Exercise				副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	建築学分野修士1年生
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	・建築設計分野の研究者・技術者として当分野を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を身につけることができる。
(2)授業の概要	本演習での目標は大きく二つある。一つは意匠系の学外インターンシップを受講する基礎知識を習得すること。もう一つはそのインターンシップでの経験を生かしさらに実践的な設計力を培うことである。前期に15回（30時間）、後期に15回（30時間）を実施し、小人数で細部にわたり実践的な指導を行う。					
(3)授業計画	・前期：インターンシップ受講基礎 第1回（2時間分）：設計事務所の社会的役割（1）都市的スケール 第2回（2時間分）：設計事務所の社会的役割（2）建築的スケール 第3回（2時間分）：設計事務所の倫理感（1）都市的スケール 第4回（2時間分）：設計事務所の倫理感（2）建築的スケール 第5回（2時間分）：設計における法的な対応（1）建築基準法 第6回（2時間分）：設計における法的な対応（2）都市計画法 第7回（2時間分）：設計における法的な対応（3）建築士法他 第8回（2時間分）：設計におけるクライアントとのやりとり 第9回（2時間分）：設計を進める上での図面の進展のさせ方 第10回（2時間分）：図面作成のための名作図面の解説（1）木造 第11回（2時間分）：図面作成のための名作図面の解説（2）S造 第12回（2時間分）：図面作成のための名作図面の解説（3）RC造 第13回（2時間分）：図面作成のための名作図面の解説（4）SRC造 第10回（2時間分）：基本設計図書の構成（1）住宅他 第11回（2時間分）：基本設計図書の構成（2）公共建築 第12回（2時間分）：実施設計図書の構成（1）住宅他 第13回（2時間分）：実施設計図書の構成（2）公共建築 第14回（2時間分）：仕様書の構成（1）標準仕様書 第15回（2時間分）：仕様書の構成（2）特記仕様書 ・後期：インターンシップ応用 第16回（2時間分）：設計図書作成対象提示 第17回（2時間分）：設計エスキス（1）テーマ・コンセプト 第18回（2時間分）：設計エスキス（2）配置・平面 第19回（2時間分）：設計エスキス（3）断面・立面 第20回（2時間分）：設計エスキス（4）詳細 第21回（2時間分）：基本設計図書の作成（1）配置・平面 第22回（2時間分）：基本設計図書の作成（2）断面・立面 第23回（2時間分）：基本設計図書の作成（3）詳細 第24回（2時間分）：基本設計図書の作成（4）プレゼンテーション 第25回（2時間分）：実施設計図書の作成（1）基本図 第26回（2時間分）：実施設計図書の作成（2）詳細図 第27回（2時間分）：実施設計図書の作成（3）設備図・構造計算書 第28回（2時間分）：実施設計図書の作成（4）仕様書 第29回（2時間分）：仕様書の作成（1）標準仕様書 第30回（2時間分）：仕様書の作成（2）特記仕様書					
(4)成績評価の方法	毎回のレポート点の合計（100点）で評価する。90点以上を秀、80点以上を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。					
(5)成績評価の基準	建築意匠設計に関する基本的な専門用語や概念を知っており、意匠設計を説明する際にどの用語や概念がふさわしいかが判別できることを合格基準とし、こららに加え、様々な条件に関して主体的に解決策を提案するにあたって、教員を感心させるレベルに応じて、『やや上にある』／『かなり上にある』／『卓越している』を判断する。					
(6)事前事後学習の内容	1回の授業あたり、4.5時間の自主学習を課す。その内訳は演習の進捗に応じて異なるが、大枠インターンシップの準備とインターンシップ後の意匠設計研究の2項目を行う。					
(7)履修上の注意	特になし					
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける terauchi@shinshu-u.ac.jp					
(9)その他						
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					